

体力向上に向けたカリキュラム・マネジメント

菊池 勇希

今回の研修は、たくさんの実技を伴う研修だったので、A4で1枚にまとめられる自信がありません。ですので、今後の「体力向上通信」で少しずつ発信をしていきたいと思っております。

したがって、本研修報告は、皆さんへの発信というよりも、今後、自分が保体部としてすべきことのまとめ的な側面が大きいです。したがって、忙しい人は**スルー**しちゃって下さい！笑

体力向上に向けたカリマネのポイント

① 発達の段階と運動の系統性を踏まえた指導計画

今後、南小で取り組みたいこと

- 運動系統指導表の内容をより具体化
 - ⇒ 見たら何を指導するのかがひと目で分かるように
 - ⇒ 先日の5・6年生のボール運動の件のような重複がないか確認
- 幼稚園や中学校との接続的な観点からの見直し

② 児童の実態を捉え、それを生かした指導の充実

今後、南小で取り組みたいこと

- 体力・運動状況調査や全学年の体力テストの結果を授業に反映させる
 - ⇒ 本当にチャレンジマラソンのままでいいのか？
 - ⇒ 短時間でできる導入運動の工夫を今後も「体力向上通信」で発信
- 運動が苦手な子へどのようにアプローチするかを考える
 - ⇒ 運動パフォーマンスに関わる内容を「体力向上通信」で発信
 - ⇒ 苦手な子でも取り組みそうな運動あそびを「体力向上通信」で発信

③ 運動の楽しさや喜びを中核とした取組の展開

今後、南小で取り組みたいこと

- 「易しい」から「少し難しい」を意図した指導
 - ⇒ 「身に付けている技能」「身に付けさせる技能」「発展的な技能」の整理
- 結果ベースではなく、運動の質的な高まりを意図した指導

④ 学習の転移のための手立て

今後、南小として取り組みたいこと

- 転移のベースとなる「楽しい」「またやりたい」と思える体育授業の構想
 - ⇒ 各学年で使用している振り返りシートを集めて共有する

⑤ 授業外の運動習慣の確率

今後、南小として取り組みたいこと

- 授業外での体育的な取組の構想（環境構成の工夫、業間体育の実施等）
- 登下校の時間を運動時間に変える手立て（管理職・保護者との連携）